

ワークショップ5

「日本薬学生連盟企画ワークショップ」

定員:40名

対象:薬学生

テーマ:医師・看護師が求める薬剤師とは？

世話役:高松 駿佑((一社)日本薬学生連盟 外務統括理事 明治薬科大学薬学部 3年)

山川 碧(同学術委員長 愛知学院大学薬学部 3年)

昨今、我が国の医療現場ではチーム医療の大切さが叫ばれております。“薬剤師はただ調剤をすればいい”とされていたところから、他職種と連携して患者に尽くすという考え方に移行してきていることは皆様ご存知のところかと思えます。

そういった状況を含めて、現在医療は激動の時代の真っ只中にあると私たちは考えており、薬剤師の職能とは？役割とは？といったところに様々な方が頭を悩ませている状況ではないでしょうか。

そこで今回のワークショップでは医学生・看護学生を講師として招き、学生の視点から見た薬剤師に期待することについて講演をいただいた後、薬剤師はどういう姿であるべきか、患者にとって何が1番有益か、という点についてディスカッションを行います。

医学・看護学という別の視点からの意見を得ることで、新たな発見が皆様の中に生まれることを願っております。